

「町田市子どもマスタープラン25-34」の評価について

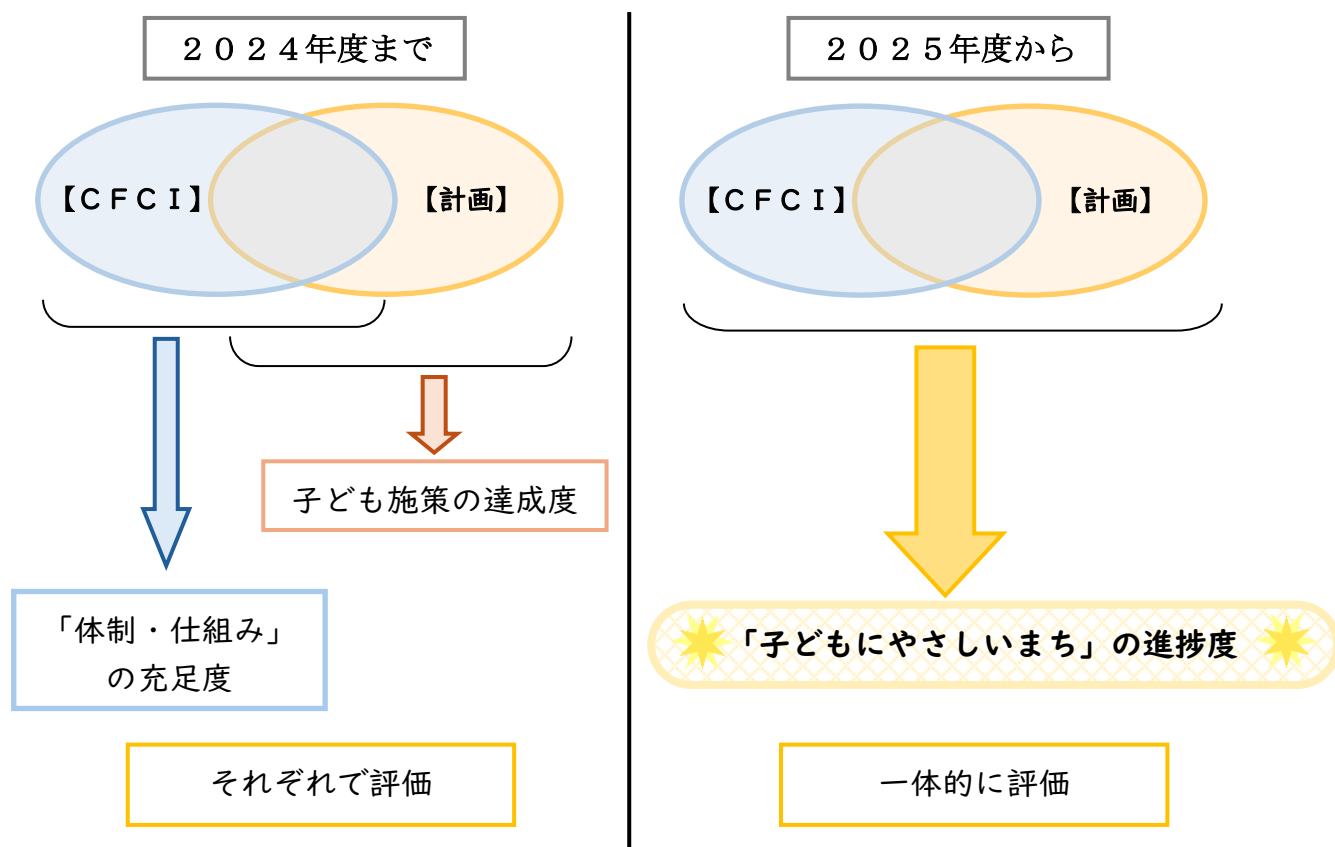
市では、子ども施策の総合計画である「町田市子どもマスタープラン」を策定し、計画の「進捗評価に関すること」を毎年度「町田市子ども・子育て会議」に諮問し、答申をいただいております。

この度、2025年度から開始する新たな計画として「町田市子どもマスタープラン25-34」を策定しました。本計画から、第6章「計画の推進」記載のとおり、評価方法を改めましたので、ご報告いたします。

1 主な変更点

2024年度までの本市の子ども・子育てに関する取組については、ユニセフの「子どもにやさしいまちづくり事業（CFCI）」と、前計画である「新・町田市子どもマスタープラン」のそれぞれで評価を実施していました。

CFCIでは主に、子ども施策に取り組む「体制・仕組み」が整っているか、計画では子ども施策の達成状況について評価を行っていましたが、評価の対象となる子ども施策で共通する取組もあったため、2025年度からはどちらも「子どもにやさしいまち」の進捗度を評価するものとして、一体的に評価することとしました。



2 具体的な内容

本市のC F C Iで活用している、「子どもにやさしいまち」に必要な10項目の構成要素に基づいて、本市の「体制・仕組み」と、本計画に掲載している「主な取組」の進捗度を総合的に捉えることで評価を行います。

■ 「子どもにやさしいまち」に必要な10の構成要素

①子どもの参画の推進	⑥予算配分
②条例・規則等の制定	⑦モニタリング
③子どもにやさしいまちづくり戦略計画	⑧子どもの人権の広報活動
④子ども施策推進部署の実施体制	⑨独立支援組織の設置・支援
⑤施策実行に係るマネジメントプロセスの状況	⑩子どもの居場所づくり

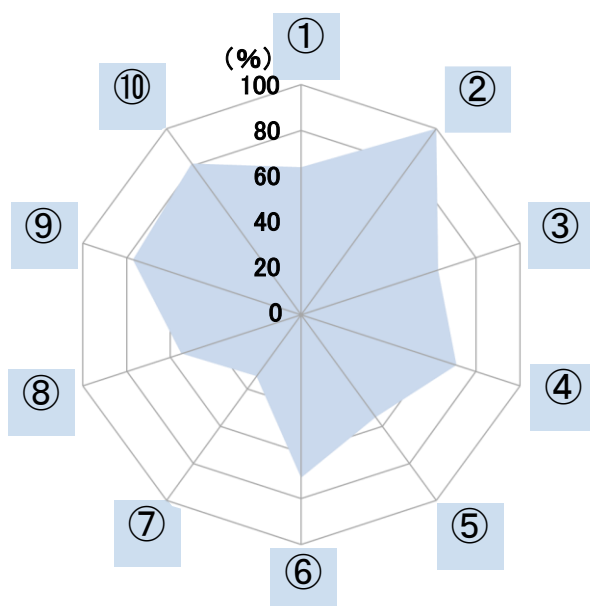
※ユニセフは①～⑨の9項目を構成要素として掲げている。10項目目は各自治体で各々設定。本市は「子どもの居場所づくり」としている。

3 評価結果の可視化

各構成要素について、本市の「子どもにやさしいまち」に向けた「体制・仕組み」と「主な取組」の進捗状況の評価し、結果をレーダーチャートで表現することで、本市の「子どもにやさしいまち」の進捗度とバランスを可視化し、重点的に取り組む必要がある項目を明確にします。

このレーダーチャートがバランスの取れた大きな円形になることを目指し、施策を推進していきます。

■ 「子どもにやさしいまち」の進捗度とバランスの可視化イメージ（レーダーチャート）



担当：子ども生活部 子ども総務課